

成富兵庫茂安はスゴイ人物なのだ!

佐賀にいた歴史的ヒーロー!
成富兵庫茂安は川やクリーク、池などを上手にむすびつけ、平野全体で治水事業を行ったんだ。
水は生活や稲作に欠かせないもので、彼が行った治水工事は大きな成果を残した。
そのおかげで、当時の佐賀藩では水の争いが少なかったそうだ。成富兵庫茂安は、
人々の生活を便利にした上に平和をもたらした、ホントにスゴイ人物なのだ!



その人とは!
ナリドミだ!

トン坊の相棒:
ナリドミ



成富の作った
土地改良施設で
水を操る

水の動きをかわせて
少ない水をうまく使い、
水不足をなくしたんだ!



成富の作った
土地改良施設で
土を守る

水の勢いを弱めることで
洪水をふせぎ、
家や田畑を守ったんだ!



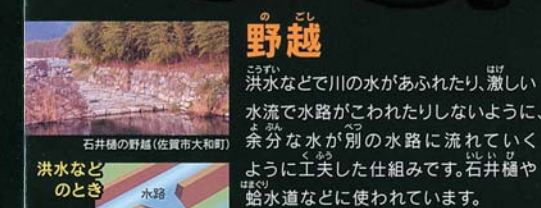
成富兵庫茂安ってどんな人?

1560年、現在の佐賀市鍋島町に生まれる。子どものころはとでもらんぼう者だったといわれています。成富が生まれた時代は戦国時代。ときようがあり、しかも頭もよかつた成富は、たくさんの戦いでかちやくしました。江戸時代には、江戸の町の修理や水路の整備に参加し、その経験をいかし、水を治める仕事(治水事業)をはじめました。農民を大切に無理はさせない成富は、だれからも好かれるとてもいいサムライでした。

ほかにあるよ! 昔の施設と その役割を紹介

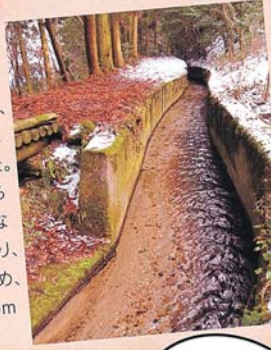


昔の樋門 (佐賀市天祐)



蛤水道 吉野ヶ里町

昔は、夏になると田手川の水が少なくなっていたので、田んぼに水をひくための水あらいがたえませんでした。田手川の上流の水源となる蛤岳に、「井手」という小さなダムのようなものをつくり、その水を田手川に流すため、山の斜面にそって1,260mの水路をつくりました。



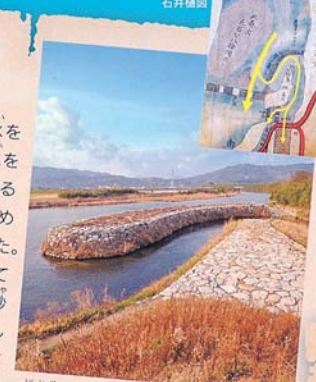
ナリドミさんステキ!



あッ!
おばあちゃんの家の近くにあるヤツだ!

石井樋 佐賀市大和町

大雨が降るといつも洪水をおこしていた嘉瀬川。洪水をふせいで、佐賀城下に流れる多布施川に水を引き込むために「石井樋」がつけられました。川の中に障害物をつくって川の勢いをゆるめたり、土砂の混じった水をきれいにしたり、さまざまな工夫がされてきました。



★石井樋については、「さが水ものがたり館」(佐賀市)でもっとくわしく学べるよ!

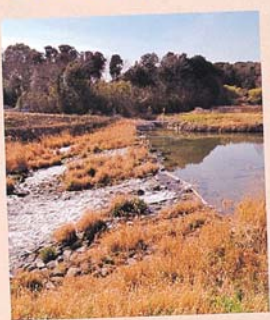
私たちの町にある
成富兵庫茂安が
つくった施設たち!

今も使われているんだ!



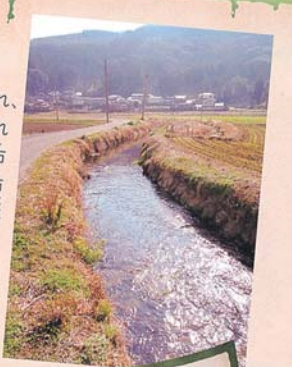
三千石井樋・横落水路 佐賀市・神埼市

城原川の西側の地域に水をひくために水の取入口(井樋)をつくり、約6kmの水路(横落水路)を通して田畑に水が流れるようにしました。用水路の入口には、洪水の被害を受けないために「野越」をつくって水の勢いを弱めるなど、嘉瀬川の石井樋とよく似た仕組みがあります。



羽佐間水道 多久市・小城市

雨が降ってもすぐに水が枯れ、安定した農業ができない荒れ地に田んぼを開くため、多久市東多久町羽佐間から小城市牛津町砥川を経て、杵島郡江北町まで続く長さ12kmの水道をつくりました。現在は石やコンクリートで一部補強されていますが、当時造った水路がそのまま使われています。



知学 近所探検隊

自分の住んでいる地域にも昔の人の知恵がまつた施設があるかもしれません。それを見つけて、いつの時代のものか、どんな役目を果たしているのか調べてみよう。



さあ!これからナリドミといっしょに身近な冒険にでかけるよ! そして... 近所アイテム(知識)をみんなでゲットしよう!